

第 126 回エイズ動向委員会
委員長コメント

《平成 23 年第 2 四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 23 年 3 月 28 日～平成 23 年 6 月 26 日までの約 3 か月
2. 新規 HIV 感染者報告数は 217 件（前回報告 243 件、前年同時期 263 件）で、過去 21 位
そのうち男性 209 件、女性 8 件で、男性は前回（226 件）及び前年同時期（248 件）より減少、女性は前回（17 件）及び前年同時期（15 件）より減少
3. 新規 AIDS 患者報告数は 136 件（前回報告 117 件、前年同時期 129 件）で、過去 1 位
そのうち男性 127 件、女性 9 件で、男性は前回（107 件）及び前年同時期（125 件）より増加、女性は前回（10 件）より減少、前年同時期（4 件）より増加
4. HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数は 353 件 で過去 16 位

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規 HIV 感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 148 件（全 HIV 感染者報告数の約 68%）
そのうち 142 件が日本国籍男性
 - 異性間性的接触によるものが 39 件（全 HIV 感染者報告数の約 18%）
そのうち男性 32 件、女性 7 件
 - 年齢別では、特に 20～30 代が多い
2. 新規 AIDS 患者：
 - 同性間性的接触によるものが 68 件（全 AIDS 患者報告数の約 50%）
 - 異性間性的接触によるものが 43 件（全 AIDS 患者報告数の約 32%）
そのうち男性 35 件、女性 8 件
 - 年齢別では、特に 30 代以上に多い

【検査・相談件数の概況（平成 23 年 4 月～6 月）】

1. 保健所における HIV 抗体検査件数（速報値）は 24,861 件（前回報告 24,475 件、前年同時期 25,103 件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は 6,692 件（前回報告 6,680 件、前年同時期 6,908 件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は 38,784 件（前回報告 39,094 件、前年同時期 40,181 件）
抗体検査件数は前回報告に比べ増加、前年同時期に比べ減少、相談件数は前回及び前年同時期に比べ減少した

【献血の概況（平成 23 年 1 月～6 月）】

1. 献血件数（速報値）は 2,647,381 件（前年速報値 2,666,292 件）
2. そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は 50 件（前年速報値 39 件）
10 万件当たりの陽性件数（速報値）は 1.889 件（前年速報値 1.463 件）

《まとめ》

1. 新規 HIV 感染者報告数は前回より減少し、新規エイズ患者報告数は四半期ベースでは過去最多となった。
2. HIV 抗体検査件数及び相談件数はともに前年同時期と比べ減少した。
3. 新規エイズ患者報告数の増加は、潜在的な感染者数の増加と HIV 抗体検査の遅れを示唆している。
4. 早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV 抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。